

令和6年度新たな地域コミュニティ支援事業における評価結果について

評価基準

S：区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を大幅に上回っている。

A：区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を上回っている。

B：区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準に概ね達している。

C：区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を下回っている。

【評価項目1】 自律的運営に向けた地域活動協議会の取組

評価	左記の理由
A	・地域ごとの課題について、阿倍野区に関わる様々な関係者が持つ特性をマッチングさせ、ニーズに寄り添った支援に取り組んだ。 ・あべのほっとカフェの開催で、普段とは異なる世代への参加を呼びかけることにより、地域活動について一緒に考えることができ、若い世代と地域がつながる機会を提供できた。 ・まちづくりセンターの SNS（Facebook や Instagram 等）やホームページなど幅広く地域活動協議会の情報発信を行った。また、プラットフォームを活用し、ボランティアの募集を行った。

【評価項目2】 事業の実施体制等

評価	左記の理由
A	・他区の「まちづくりセンター」と情報共有を行い、防災交流会や広報交流会に参加することで他区の状況を知り、阿倍野区の特徴を掴むとともに、他区での参考事例を取り入れながら地域支援を行った。

【評価項目3】 アンケート調査

評価	左記の理由
A	・まちづくりセンター等の支援について満足している割合や地域が自律的に運営されていると感じている割合が8割を超えており、高い水準となっている。

【総合評価】

評価	左記の理由
A	・若い世代のアイデアを広くまちの人々に共有する機会の創出や、世代間が円滑にコミュニケーションできるような支援を行い、新しい地域活動を模索して生まれた世代間の交流や新たな価値観を積極的に取り入れ、地域活動が自律し、継続・安定するために協働することができた。 ・若い世代に地域活動への関心を持ってもらえるように、ICT 活用支援を積極的に行った結果、フォロワー数の増加につながった。 ・上記について、アンケート調査結果からも効果的な地域支援を実施したと判断できる。